

東白川村議会活動情報誌

くらしと議会

■発行 東白川村議会 ■編集 議会報編集委員会 ■住所 岐阜県加茂郡東白川村神土548 ☎0574-78-3111(代) ■URL <http://www.vill.higashishirakawa.lg.jp/>



▲予算案に賛成討論を行う安江祐策議員

◆総額で二十九億六千八十万円となった二十一年度予算。ここでは、新規事業、特徴ある事業についていくつか紹介します。

- ◆総額で二十九億六千八十万円となった二十一年度予算。ここでは、新規事業、特徴ある事業についていくつか紹介します。
- ◆地域ICT活用モデル構築事業 三千六百九十五万八千円
- ◆立村百二十周年記念事業 三百三十六万七千円
- ◆天然素材販売推進事業 百二十万二千円
- ◆独居老人通信対策 七万八千円
- ◆徴収嘱託員設置事業 八十七万六千円
- ◆生ゴミ処理機設置補助金 六十万円
- ◆耕作放棄地対策事業 百万円

紹介します 新年度事業

平成二十一年第一回定例会は、去る三月六日開会、条例案件十三件、予算案件十六件など三十三件を審議し、いずれも原案どおり可決、十二日に閉会しました。

キーワードは「どきどき」、「住み良し」、「優し」、「豊か」

総額二十九億六千八十万円の新年度予算を可決

以下、平成二十一年度からの繰越事業を紹介します。

- ◆小学校大規模改造事業 二億七千七百五十一万円
- ◆太陽光発電設備導入事業(小学校) 一千九百五十万九千円

安江 浩議員

挨拶 予算関連質問

簡水について、毎年、維持管理費で六千万円余が必要となるが、収入は五千万円程度しかない現状である。水道水の利用度を高めることが急務と考えるが村長の考えを伺いたい。

答 安江眞一 村長 確かに簡水は、赤字の状態です。今年には特に老朽化した中央監視装置と濁度計を更新する計画です。赤字になったからといって、すぐ利用料を上げる考えはありません。またご提案いただいた料金体系見直しについては、シミュレーションする必要がありますが、いずれにしても、現在の料金でたくさん使っています。ただ、まだ一部に飲料水まで簡水以外を使っている方があります。こうした方については今後、安心・安全の

水道水をご使用いただくようお願いしていきます。

安江利英議員

①雇用促進事業について、村内事業所への新規就業者に対する助成制度の内容を伺います。

②経費の節減合理化について具体的にとどのような方法で節減を図られるか伺います。

答 松岡産業建設課長 緊急雇用の件ですが村内へのUターン、Iターンの方で村内企業へ勤めていただいた方に対して月額一万円から一万五千元程度、年間で十二万円から十五万円程度を、就職後1年たった後に実績を見て支給できないかと考えています。人口増加対策として二年間の継続事業を考えています。

答 橋 総務課長 昨年は燃料費の単価アップ等がありました。例えば夏場の冷房は昨年三日しか使用しませんでした。冬場も暖房は午後五時十五分にはスイッチを切る形を実施して節減しており、また紙も、印刷ミスの再利用などを行っており、こうした小さな積み重ねをして経費節減をしていく計画です。人件費では二十一年度も引き続き、特別職と議員の皆さんの期末手当を一割カットし、時間外勤務手当は特定の職員に偏らないように、その係内、また

平成21年度 予算総括表

会計名	予算額	前年対比
一般会計	18億1,400万円	4.6%増
特別会計		
国民健康保険特別会計	3億7,620万円	5.0%増
老人保健特別会計	500万円	86.3%減
介護保険特別会計	2億4,690万円	5.2%増
簡易水道特別会計	1億6,930万円	22.1%増
下水道特別会計	2,120万円	1.4%増
国保診療所特別会計	2億9,600万円	2.0%減
後期高齢者医療特別会計	3,220万円	8.0%減
計	11億4,680万円	1.8%増
合計	29億6,080万円	3.5%増

《平成21年東白川村議会構成》
 議長 安江 浩
 副議長 服田順次
 【総務常任委員】
 委員長 安江祐策 副委員長 安倍 徹
 委員 安江利英、服田順次、今井保都、安江浩、熊澤光介
 【議会運営委員】
 委員長 安倍 徹 副委員長 安江祐策
 委員 服田順次
 【議会報編集委員】
 委員長 服田順次
 委員 安江利英、今井保都、熊澤光介

四月二十八日に招集された、臨時会において私約交代が行われました。新しい議会構成は左の通りです。

平成二十一年第一回臨時会を開催

この度東白川村議会議長を拝命致しました。もとより浅学非才な私でございます。議員諸氏のご協力をいただき、重責を全うすべく、全力で取り組み所存でございます。国では全世界的不況の中、二十一年度予算、また大型補正が打ち出されており、本村でも元気を促す新年度予算が出されました。過疎化、高齢化、少子化等課題は山積しておりますが、責務を果たすべく、一生懸命議会活動に邁進致しますので、よろしくお願ひ申し上げます。

就業のごあいさつ
議長 安江 浩

議会活動の紹介

■村内視察 二月十六日、診療所裏の急傾斜地崩壊対策事業、小学校大規模改造事業等、平成二十一年度二次補正分、平成二十一年度新規事業分等を含め十一カ所の現地視察を実施。

問 安倍 徹議員

①役場職員の雇用について、効率的な人員配置や、県下で最も低い給与率等も踏まえ村長の考えを伺います。

②中山間地直接支払い制度について、新世紀工場の経理をしっかりと、わかりやすくしていただきたい。説明では作業料は県やJAの平均よりも低いということですが、そうした点も、はっきり示す必要があると思えますが村長の考えを伺います。

場は村の一大企業であり、就職口としてできるだけ人数は多い方がいいというのが理想です。二十一年度にも二人採用予定ですが、定年等もあり、人的には増員にはなりません。職員の仕事量が減れば、人員削減を考えますが、現状では手いっぱいのところをやっています。

中山間の件については、お話のとおりと考えますので、今後もう少し砕いたものにして報告させます。



質問 安江利英議員

・村長として過去三年間の政策結果と今後の村政の進め方について

過去三年間における安江村政の結果の再確認と、今後の進め方について伺います。

村長は、就任時第四次総合計画に基づき前村長の路線継承を明言していましたが、結果が実感できません。また、四次総は、全体が大きい過ぎ、内容がつかみにくいと思えますし、目標年次が二〇一五年ですが、現実にはほとんどが下降線をたどっているのが実情のようです。この点につき村長の考えを伺います。また、持論として「無いものねだり」があるものを探し」と言われますが、これも成果が出ているのか、伺います。

次に、今後の政策について、先の見えない世界的不況により活気のない状態が続いており、今後もしばらくは続くことが予想されますが、こういう時期だからこそ、こんな小さな村でもせめて気持ちだけでも元気をだしていかなくてはなりません。村長は村を牽引する立場から、どんな小さなことでも結構ですので、何か元気の出る政策を打ち出しているか、伺います。

質問 安江眞一村長

・三年前、前村長の急逝により村長を拝命致しましたが、自治体の細部までは把握できず、当初総合計画に沿っていかばと考

えていたことは確かです。「無いものねだり」よりも「あるもの探し」については、現在無いものを作り出す力がないという意味でお考えいただきたいと思

います。また、あるもの探しに



質問 安倍徹議員

・新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルス対策について、今年二月のWHOの発表では鳥インフルエンザウイルスの確定症例数は、過去六年間で世界十五カ国に四〇七症例の罹病者があり、致死率は約六三割にあたる二百五十四人となっています。日本でも人への爆発的伝染が危惧されています。かつて大正年間の大流行した「スペインインフルエンザ」の致死率は罹病者の一七割、約四十万人と推定されています。現代では行政指導体制や医学の進歩により、それほどにはならないと予測されていますが、早急な対策が必要です。国も、新年度予算配分の中で重要課題推進枠を設け、対策費として六十九億円を計上しました。そうした中、村で発表された新型コロナウイルス対策行動計画概要では、国が想定している二五割の人が新型コロナウイルスに罹患したと想定し、感染拡大の抑制を図り健康被害を最小限度にすること、各種機能・経済活動に対して破綻を来さな

については四苦八苦をしていますが、何とか小さなことから粘り強く積み上げていき、できる限り地域経済への応援体制をとっていきたく考えています。ご指摘のとおり、暗いことばかり考えていると村全体が暗くなってしまうので、小さなことでも前向きに考え、一生懸命村政運営を行っていただくため平成二十一年度予算を立てました。

質問 今井俊郎参事

・第四次総合計画の進捗率について

第四次総合計画の進捗率について説明します。進捗率につき一つの切り口として、事業件数と予算の関係を報告します。十八年度は当初計画事業件数が百三十六件に対し、実施件数は百三十三件で、九六割の実施率となり、事業費は、約九十割です。また、十九年度は、事業計画件数が百五十四件に対し、実施件数は百四十四件となり、九一割の実施率でした。事業費は、約七九割となりました。二十年度もおおむね同程度の実施率で推移をしています。

一般質問

第1回議会定例会で、3人の議員から村政全般についての質問が行われました。

質問 安江眞一村長

・現在、国・県では治療薬タミフルの備蓄や医療体制の整備等の行動計画を策定しており、村でも行動計画を作成し、対策本部組織を立ち上げ、その計画に従って新年度から事業を推進します。村民の皆さんには、段階別措置に基づき、感染防止のため、外出時のマスク着用、外出後のうがい・手洗い、十分な休養で抵抗力を高める必要があり、各家庭では災害時同様「食料や日用品、マスク等の備蓄をお願いしたいと思

います。治療体制については、現時点では県が備蓄する治療薬を発生時に提供し治療することとしています。また、この高病原性鳥インフルエンザが感染爆発を起せば、国民の二五割が発症し、二千五百万人が医療機関へ殺到し、六十四万人が死亡すると言われています。今後とも情報にはアンテナを高くすることが大切で、日本にはまだないとい

って安心はできませんので、



質問 榎田順次議員

・つちのこ街道について

平成十九年度に作成されたつちのこ街道のパンフレットについて伺います。つちのこ街道とは、国道四一線から国道六二号線、そして国道二五六号線を通っている通称「白川街道」のことですが、当初村長は、パンフレットを作成するに当たり、この白川街道を、清見・明玉を結んでいるせせらぎ街道のような街道にちなんで東白川村をアピールしているためネーミングされました。特に中京圏から下呂、高山への観光客の皆さんをターゲットに売り込む予定であったと思

質問 榎光一総務課長

・新型コロナウイルス対策に関する予算措置について説明します。新年度は災害対策費として総額で二十一万円を予定して

最悪の場合を想定しながら、今後、医療機関とも連携を図り、計画を進めていきます。

り、その主な内容は、研修会等への参加、マスク、手袋、ゴーグル等、対応職員用の消耗品の購入と、医療従事者用の感染防護服五組を購入する予定です。そのほか、住民の皆さんへの情報提供用チラシ作成、新聞折り込み料、パンフレットの購入費などを予定しています。

ではトチノキ街道と呼ぶ人もほとんど無く、植えたトチノキも少ししか残っていません。そこで、昨年度には南北橋に「つちのこの里」という横断幕を設置しました。

平成二十一年度は看板を作る予定にしています。また、道の駅からも、もう少し宣伝して欲しいという要望もありますし、ふるさと企画では下呂へセールスに行っていますので、同じようなパンフレットを作って配布したいと考えています。特にご指摘のように、入り口・出口はもちろん、途中にも「つちのこ街道」の看板を立てていきたいと考えています。いずれにしても、新年度になりましたら県の土木事務所へ実情を説明しながら協議をし、「トチノキ街道」は「つちのこ街道」に衣替えするということを進めたいと思います。

議員のひとこと

長持ちした桜も終わり、季節「山笑う」のように、華やかに山笑う山々は新緑の準備も整い、季節は一気に進んでいる。そして今年の桜のような政局は、景気対策に選挙対策がからみ種々の今までの問題点を総動員し対応した？予算に続き、大型補正も検討されている。地方には、格差是正のための臨時交付金や交付税の増額、個人には定額給付金の工口対策補助など、わが小村に配分された、配分されるであろうお金は合わせ三億円を超えてついでである。三位一体の改革以来、苦しんできた村財政も「一息」の感

があるのだが、今は「ヤレヤし助かったなア」の裏側に、おひつ底が見えている現状では、ため息をつきつつ感じる「ひと時のありがたさ」でもある。

暮らしはまだまだ安心できないし、将来への見通しも不透明。近々の全国各地での選挙で『投票に行ったら有権者の年齢平均が五十三歳。かつて三十七歳だったことを考えると、高齢化分を差し引いても若者の政治離れが顕著』との報道。『親は我慢しても子供だけは』

だった日本の若者に、夢があり参加できる政策がいま求められている。文責：安倍徹